

交通事故にあったら まずどうする？



突然の事故で混乱すると思います。その時、落ち着いて行動できるように今から勉強しておきましょう。車と自転車の事故も多発しています。事故の相手の氏名や連絡先、事故状況の確認、医師の診断は何よりも優先してください。

1

車や自転車を安全な場所へ止めます。(二次災害を防ぎます)

2

救急 119 へ電話をかけます。

けが人がいる場合は、救急 119 に電話をかけます。

3

警察 110 へ電話をかけます

- ・ 警察官が到着するまで、事故の場所から立ち去らないでください。
- ・ 警察官が到着したら、事故の状況を説明します。それから警察官が事故現場の確認をします。

4

病院へ行きます

事故発生時には軽傷だと思っていなくても、実は重傷だったということがあります。早めに病院へ行き、医師の診断を受けてください。

5

「交通事故証明書」の申請をします

保険のお金をもらう時など、交通事故に関する様々な手続きに「交通事故証明書」が必要になります。

人身事故については事故発生から5年、物件事故については事故発生から3年が過ぎると、原則として「交通事故証明書」は交付できません。交通事故直後には必要ないと思っても、何年か経った後に必要になることもあります。特に死亡、重傷事故のときは、証明書を取得しておきましょう。

※警察に届出をしていないと「交通事故証明書」の発行はできません。必ず警察に届出をしてください。

■ 申請方法

自動車安全運転センター、警察署、交番、駐在所、損害保険会社などで、申請書をもらうことができます。

必要事項を記入したあと、申請書を提出します。申込方法は、郵送、窓口、インターネットによる方法があります。くわしくは、自動車安全運転センターのHPを見てください。

自動車安全運転センター：交通事故に関する証明書

<https://www.jsdc.or.jp/certificate/tabid/112/Default.aspx>

(日本語)

<https://www.jsdc.or.jp/en/tabid/142/Default.aspx>

(英語)



日本語



英語



生活相談あれこれ

FICEC では月～金曜 10 時～16 時に生活相談を行っています。

日本に来て 6 か月の小学 4 年生の息子が学校でいじめにあっています。先日我慢できなくなってやり返したところ校長先生に呼び出されてしまいました。中国ではやられたらやり返し、あとはスッキリして仲直りするのが常識です。日本では我慢しなければだめですか？

日本で暮らすとき、ある程度日本のルールに合わせる方が暮らしやすいと思います。学校の中は小さな社会です。学校であってもいじめは許されるものではありません。いじめをなくすよう学校に働きかけることも必要です。そのためにも息子さんの話をよく聞いてあげてください。

私は生活保護受給者です。DVにあった友達をかくまっています。食料品を寄付してください。

生活保護受給者は他人を保護することはできません。すぐ市役所のDV担当課に相談に行くように勧めてください。「友達をかくまう」ことは不正な行いとみなされ保護を打ち切られることもあります。生活保護受給者には「人を泊めてはいけない」のほかにもいくつかの義務があります。

- ①保護費を母国に送金してはいけない
 - ②借金の返済に充ててはいけない
 - ③不必要なものやぜいたく品を買わない
 - ④母国に一時帰国する時はケースワーカーに連絡する（その間の保護費は出ません）
 - ⑤飲酒や喫煙、ギャンブルを制限する
 - ⑥収入があった場合は収入状況をケースワーカーに報告する
- 保護費は無駄づかいせず、少しでも早く能力に合った仕事を探して自立できるよう努力しましょう。

ボランティアを募集しています

FICEC は多くのボランティアの力で支えられています。今、特に翻訳や通訳、生活相談スタッフを募集しています。

曜日や時間帯、活動内容など、あなたの状況に合わせて参加できます。ぜひ、ご連絡ください。(049-256-4290)



出入国在留管理庁から
日本で生活する外国人のみなさまに
役に立つ情報をメールで届けます

『出入国、在留情報、在留支援、入管政策など』

- Eメールがあれば誰でも登録できます
- 配信される情報は自分で選べます
- 最新情報やイベントのお知らせを届けます



日本語



やさしい日本語



英語

活動を再開しました

FICEC 日本語教室

毎週木曜日、10:00～12:00
一緒に日本語の勉強をしましょう。
木曜日以外に勉強したい方はご相談ください。



FICEC 国際子どもクラブ

毎週土曜日、9:00～12:00
外国ルーツの小学生、中学生、高校生のみなさん、一緒に学校の勉強や日本語学習をしましょう。
遊びの時間もあります。

